

平成27年5月14日

## 日清製粉グループ 連結決算、次期連結業績予想

**当期は売上高5,261億44百万円、経常利益255億44百万円。**

### **[平成27年3月期連結決算]**

(株)日清製粉グループ本社(社長:大枝 宏之)の平成27年3月期につきましては、政府の景気対策や日本銀行の金融緩和政策等の効果もあり、円安・株高が継続し、企業業績や雇用・所得環境が改善するなど、消費マインドは持ち直してきており、緩やかな景気回復の動きがみられました。一方、原材料価格の上昇や電気料金の高止まり等、内需型企業においては、厳しい状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループは、各事業において市場の活性化に向け積極的な新製品の上市・拡販に取り組むとともに、国内外で事業基盤強化に努めました。国内では、製粉事業において臨海大型工場への生産集約を進め、コスト競争力強化を推進し、食品事業においては、冷凍パスタの生産・供給体制強化のため、冷凍食品新工場の稼働に向け準備を進めております。海外では、米国での製粉4工場買収、ベトナムの調理加工食品工場稼働、トルコのパスタ工場建設等、各施策が順調に進捗しました。

これらの結果、売上高は海外事業の拡大及び国内外での拡販により、5,261億44百万円(前期比106.1%)となりました。一方、利益面では、全社的なコスト削減に取り組みましたが、原材料コストの上昇、拡販施策費の増加及び製粉福岡工場の減価償却費の増加等により、営業利益は204億76百万円(前期比91.9%)、経常利益は255億44百万円(前期比99.9%)、当期純利益は160億36百万円(前期比106.2%)となりました。

なお、当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました。当期の年間配当におきましては、株式分割に伴う1株当たりの配当金の調整は行わず、期末配当総額を増加させ実質増配とするほか、さらに期末配当を2円増額して、1株当たり22円とさせていただきます予定です。

### **[平成28年3月期通期連結業績予想]**

我が国の経済は、企業業績や雇用情勢の改善等、緩やかな景気回復の動きがみられます。一方、当社グループを取り巻く環境は、消費者の節約志向の継続や原材料価格上昇等により、引き続き厳しいことが予想されます。このような環境下におきましても、当社グループは国民の主要食糧である小麦粉等の安定供給を確保し、安全・安心な製品を供給するという使命を果たしてまいります。また、各事業においてお客様視点に立った新製品の開発や広告宣伝活動等の販売促進施策及び生産性向上等のコスト削減に取り組むとともに、海外事業の拡大を推進してまいります。

なお当社は、事業環境の変化に適合し、業績を回復・向上させるべく、グループ基本戦略を見直し、将来の持続的な成長に向けた新たな経営計画「NNI-120 II」を策定しました。新経営計画で策定した戦略を遂行し、収益基盤の再構築と成長、並びに株主還元強化を進めてまいります。

以上により、平成28年3月期の業績見通しにつきましては、売上高は5,700億円(前期比108.3%)、営業利益は205億円(前期比100.1%)、経常利益は243億円(前期比95.1%)、親会社株主に帰属する当期純利益は161億円(前期比100.4%)としております。また、平成28年3月期の配当につきましては、当期より2円増額の1株当たり年間24円を予定しております。

以上